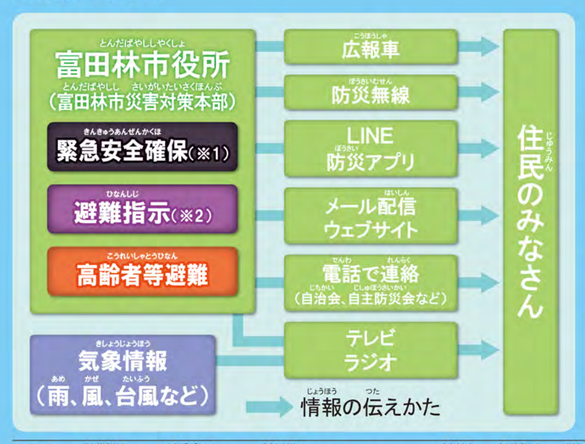
富田林市 洪水・土砂災害ハザードマップ

避難(逃げる)情報の伝えかたとみなさんがすること －やさしい日本語版－

あなたとあなたの大切な家族を守るために

富田林市では災害が起こるかもしれないときに『災害対策本部』をつくります。危なくなって逃げなければならないときは避難情報を知らせます。情報を聞いて、正しく行動してください。



警戒レベル	避難情報など(富田林市が出す)	防災気象情報(気象庁が出す)	情報を出すとき	みなさんがすること
5	緊急安全確保※1	大雨特別警報	災害が始まっているか、すぐに災害が起きます	すぐに安全な場所に逃げて、命を守ってください!
	警戒レベル4までに必ず逃げてください!			
4	避難指示※2	土砂災害警戒情報 洪水警報	災害が起きる可能性が高い	危ない場所からみんな逃げてください
3	高齢者等避難	大雨警報(土砂災害) 洪水警報	災害が起きるかもしれない	お年寄りなどは危ない場所から逃げてください※3
2		大雨・洪水・高潮注意報	天気が悪くなる	逃げかたを考える
1		早期注意情報	これから天気が悪くなるかもしれない	災害が起きたらどうするか考える

※1 災害が起きたことがわからないときがあります。警戒レベル5「緊急安全確保」は出ないかもしれません。気をつけてください。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで出ます。
※3 お年寄りではない人も危ないと思ったら逃げてください。

発行 富田林市 市長公室 危機管理室 〒584-8511 大阪府富田林市常盤町1-1 ☎0721-25-1000(代表)
作った日 2022年4月

インターネットで防災情報を知る方法

パソコンや携帯電話で、雨の量や川の水の高さなどを調べてください

富田林市ウェブサイト https://www.city.tondabayashi.lg.jp/	気象庁 キキクル(危険度分布) https://www.jma.go.jp/bosai/risk
おおさか防災ネット https://www.osaka-bousai.net/pref/index.html	大阪管区気象台 https://www.jma-net.go.jp/osaka/

メールで防災情報を知る方法

緊急速報メール(エリアメール)

地震のお知らせや、国や市などが出す災害や避難の情報を、あなたがいる場所の携帯電話に送ります。
※くわしいことは携帯電話会社のホームページを見てください。

とんだばやしメール

富田林市に登録した携帯電話やパソコンにメールを送ります。安心や安全のための情報などが届きます。

登録の方法 下のアドレスへメールを送ってください
→登録するためのアドレスを送って来ます。
tonda@emp.ikkr.jp

おおさか防災情報メール(おおさか防災ネット)

地域(市・町・村)ごとの防災の情報を、登録した携帯電話にメールで送ります。

登録の方法 下のアドレスへメールを送ってください
→登録するためのアドレスを送って来ます。
touroku@osaka-bousai.net

▲登録は0円です。でもメールが来たときにお金がかかります。

緊急時(助けてほしい時、とても危ない時)の連絡先

名前	電話番号
富田林市役所(災害対策本部)	0721-25-1000
・防災情報音声案内サービス 家の外で富田林市の防災の放送を聞くことができます。	0800-805-5653
富田林消防署	0721-23-0119
・病院案内専用ダイヤル けがや急な病気をみてくれる病院を教えてくれます。	0721-23-9919
・救急安心センターおおさか けがや急な病気の相談ができます。	#7119 または 06-6582-7119
富田林警察署	0721-25-1234
大阪ガス(ガスがもれたのときの電話番号)	0120-319-424
大阪ガス(お客様センター)	0120-394-817
関西電力送配電ダイヤル 電線と電柱などについて連絡するところ	0800-777-3081
NTT(電話がこわれたとき)	113 ※

※使っている電話の会社によっては電話がつながらないかもしれません

防災情報を伝える防災アプリ

富田林市 公式LINE	富田林市 防災アプリ HAZARDON		NHK NHKニュース・防災		Yahoo! 防災アプリ	ウェザーニュース	関西電力送配電 関西停電情報
	iPhone	Android	iPhone	Android			

※アプリは0円で使えます。でも、通信にかかるお金はあなたが払います。
※アプリによっては地域を選ばなければなりません。「富田林市」を登録してください。

災害が起きたときのX(エックス)ハッシュタグの使いかた

市ではX(エックス)のハッシュタグを使って、災害(地震、大雨、台風、竜巻など)の被害のようすを集めています。
市内の被害のようすを「＃富田林市災害」のハッシュタグをつけてツイートをしてください。
災害対策本部で災害の情報を集めています。災害の場所がわかる文や写真をのせてツイートをしてください。
みなさんツイートしてください。

くわしくはこちら➡ 富田林市 災害 X 検索

災害用伝言サービス

大きな災害がおきてから4日ぐらい電話がつながらないことがあります。このとき、「災害用伝言ダイヤル」・「災害用伝言板サービス」・「災害用伝言板(web171)」を使うことができます。

災害用伝言ダイヤル

「171」をおして、説明をきいてください。

大きい災害が起こったときにこのサービスを使って、電話で安否情報(大丈夫かどうか)を知らせることができます。被災地(災害でたいへんなところ)にいる人とほかのところにいる人の間で、伝言(大丈夫かどうか知らせる)を話したり聞いたりできます。毎月1日と15日、1月1日から1月3日、防災週間、そして防災とボランティア週間に災害用伝言ダイヤルを使ってみることができます。

伝言の録音(連絡したいことを話す)
1 7 1 をおす
1 をおす
説明が聞こえます
伝言を聞く
1 7 1 をおす
2 をおす
被災地の人も被災地ではない人も、
被災地の人の電話番号を 電話番号のはじめ からおす
録音(伝言を話す)
再生(伝言を聞く)

災害用伝言板サービス

被災者(災害でたいへんな人)が携帯電話で大丈夫かどうか、他のところの人に知らせることができます。スマートフォンや携帯電話のメニューから「災害用伝言板」を開きます。伝言の登録(伝言を書くこと)と確認(見ること)ができます。

安否状況の登録
伝言や大丈夫かどうかを書きます。
安否状況の確認
大丈夫かどうかを知りたい人の携帯番号を押します。

災害用伝言板(web171)

https://www.web171.jp/

インターネットで被災者(被害でたいへんな人)が大丈夫かどうかを調べることができます。伝言を書いたり見たりすることができます。

上のHPを見てください。案内をよく読んでください

災害の時のために家に水や食べ物を準備してください

3日分から7日分を準備してください。できるだけたくさん準備してください。

食べ物
- □飲み水 (1人に1日3リットルの飲み水が必要)
- □非常食 (災害の時のための食べ物、缶詰・乾パンなど)
- □粉のミルクとほにゅうびん (赤ちゃんがいる時)

救急・安全のために
- □よく使う薬(胃腸薬、かぜ薬など)
- □包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- □きず薬、消毒薬
- □病気の人がいつも飲んでいる薬
- □ヘルメット □おくすり手帳
- □防災ずきん

服など
- □服(厚い物と薄い物)
- □下着など
- □タオル、毛布
- □手袋、軍手
- □寝袋
- □傘、レインコートなど

大切なもの
- □お金(10円、100円など小さいお金)
- □銀行や郵便局の通帳、はんこ
- □クレジットカードなど
- □健康保険証
- □免許証、パスポートなど (あなただとわかるもの)
- □権利証書(家の持ち主がわかるもの)
- □母子手帳
- □家族の写真

生活で使うもの
- □ポリ袋(ビニール袋)
- □新聞紙
- □ろうそく、ライター
- □ナイフ、缶切り
- □ティッシュペーパー
- □懐中電灯(手にもつ電気)
- □携帯ラジオ
- □電池
- □ポータブルトイレ
- □ペット用品
- □携帯電話
- □えんぴつ、ノートなど
- □メガネ
- □体温計
- □紙おむつ
- □マスク
- □消毒液
- □使い捨てカイロ
- □ハザードマップ(この地図)

避難(逃げるとき)のために知っておくこと

災害が起きる前に、逃げるときに必要なものを準備してください。どのように逃げるか、家族で相談してください。

別々に逃げることを考えてください。
右ページの避難行動判定フローを見てください。そして、いつ、どこに逃げるか考えてください。

ペットと一緒に逃げることを考えてください
避難所(逃げるところ)のルールを守って、ほかの人に迷惑をかけないでください。ペットに使うものも持って行ってください。

外のようすを見て、はやく逃げてください
避難(逃げる)情報が出ていなくても、近くのようすをみて自分が危ないと思ったら逃げてください。

みんなで助け合ってください
1人で逃げないでください。近所の人たちと一緒に、決められたところへ逃げてください。

車で逃げるときは気をつけてください
車は、30cmぐらい水につかると動かなくなります。車で逃げるときは気をつけてください。

安全な道を通って逃げてください
逃げるときは、川の横や地面の下の道などは通らないでください。安全な広い道を通ってください。

持っていくものはとても少なくしてください
逃げるときに持っていくものはリュックサックに入れてください。両手がいつでも使えるようにしてください。

避難施設(災害のときに逃げるところ)では話をよく聞いて行動してください
避難施設に着いたら、係の人の話をよく聞いてください。住所と名前を伝えてください。

避難行動要支援者(逃げるときに助けが必要な人たち)について

避難行動要支援者とは、災害が起きたときに1人で逃げることができない、助けが必要な人のことです。みんなで、近くのお年寄りや体が不自由な人が大丈夫かどうか聞いて、避難施設に行くとき手伝ってください。

お年寄り・病気の人
- 背中におぶって安全なところまで逃げる。
- 2人以上で助ける。

手や足が不自由な人(車いす)
- 階段では2人以上で助ける。階段を上がるとき、車いすの人は前を見る。下りるときは後ろを見る。
- 1人で手や足が不自由な人を助けるときは、ひもなどでおぶって逃げる。

目が不自由な人
- 声をかけて情報を伝える。
- 一緒に歩くとき、つえを持った手にさわらない。ひじの近くを持ってもらい、少し前をゆっくり歩く。

耳が聞こえないまたは聞こえにくい人
- 相手にわかるように口を大きく開けて話す。
- 手話、字を書いたり、身振りなどを使う。

知的な障がいのある人
- 1人のときにとても危なくなったら、急いで助ける。
- 災害のようすや避難所の場所を、短いことばや文字、絵、写真で教える。必要なときは、一緒に安全な場所へ行く。

精神的な障がいのある人
- 災害のようすや避難所の場所を教える。必要なときは、一緒に安全な場所へ行く。
- 気持ちが不安なときは、少し待って安心するように手伝う。

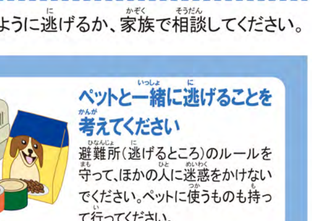
くわしいことは「富田林市避難行動要支援者支援プラン」を見てください。

水平避難と垂直避難

災害のときは早く逃げることが大事です。でも、避難所へ逃げる道に水がたくさんあって、危ないときは逃げないでください。そのときは、避難所へ逃げる(水平避難)だけでなく、近くのビルの高いところや自分の家の2階へ行ってください。高いところへ上がり(垂直避難)、助けを待ってください。

危ない逃げかた

避難所へ逃げる(水平避難)


高いところへ逃げる(垂直避難)

避難所で感染症(うつる病気)を防ぐためにすること

● 避難所(逃げるところ)に入るとき
- 避難所の人があなたの体の温度をはかります。それから順番に中に入ってください。
- 避難所では、マスクをしてください。マスクをもっていないときは、受付の人に言ってください。

●密(人が多いところ)を避ける
- 避難所はせまいです。「密」になります。親戚や友だちの家へ逃げることも考えてください。
- 車の中で泊まるときは、エコノミークラス症候群や熱中症などに気をつけてください。

3つの「密」を避ける
- 密閉空間 空気が悪い
  ▶30分に1回、空気を入れかえる。
- 密集場所 多くの人が集まる
  ▶ほかの人との間をあけてください。
- 密接場面 すぐ近くで話したり声を出す
  ▶人のすぐ近くで話したり声を出さない。

●病気にならない・健康のためにすること
- ふたのあるトイレは、ふたをしてから流してください。
- 決まった時間に体の温度をはかってください。
- 体の調子が悪いときは、避難所の人に言ってください。
- マスクと消毒液を持ってきてください。

●手洗い、咳のマナー
- 避難所では必ずマスクをしてください。マスクがないときは避難所の人に言ってください。咳をするときは口や鼻をおさえてください。
- 何回も手を洗います。食事の前やトイレの後は必ず手を洗って、手と指の消毒をしてください。

大雨(雨がたくさん降ること)・洪水(川の水がいっぱいになって道に水がたくさん来ること)の注意報・警報

次のようなときに、大阪管区気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報
災害がおきるかもしれない
- 大雨: 大雨で、道や家に水が入ったり土砂災害(山の土や石が道や家まで来ること)が起きるかもしれないときに知らせます。
- 洪水: 大雨や長いあいだ雨が降って、川の水があふれたり堤防が壊れて、災害が起きるかもしれないときに知らせます。

大雨・洪水警報
とても大きな災害がおきるかもしれない
- 大雨: 大雨で、とても大きな浸水の災害やとても大きな土砂の災害がおきるかもしれないときに知らせます。
- 洪水: 大雨や長いあいだ雨が降って、川の水が増えたり堤防が壊れて、とても大きな災害がおきるかもしれないときに知らせます。

大雨特別警報
「警報」よりもとても危ない
- 大雨: 台風や集中豪雨(短い時間にたくさん雨が降ること)で、数十年に1回の大雨になるかもしれないときに知らせます。

※「洪水」は、特別警報が出ません。

- 数年に1回のとても強い雨が降るときに、気象台が「記録的短時間大雨情報」(短い時間にとても危ないたくさんの雨が降っているお知らせ)を出します。この情報が出たところでは、災害が起きるかもしれないぐらい大雨が降っています。
- 大雨などのときには、テレビやラジオなどでいつも注意報や警報、特別警報を確かめてください。NTTテレホンサービス「177」や気象庁のホームページ(http://www.jma.go.jp/)でも知ることができます。
  富田林市に注意報や警報が出るときの雨量基準値(降った雨の量)などは、気象庁のホームページで知ることができます。

雨の強さと降り方(1時間に降る雨の量)

少し強い雨(10ミリ~20ミリより少ない)

地面に水がたまります。話す声が聞こえにくいです。長く雨が降りそうなときは気をつけてください。

強い雨(20ミリ~30ミリより少ない)

傘をさしても濡れます。小さい川で水があふれたり、がけ崩れがおきるかもしれません。

激しい雨(30ミリ~50ミリより少ない)

強い雨。山崩れ、がけ崩れが起こるかもしれません。通れない道路があります。逃げる準備をしてください。

とても激しい雨(50ミリ~80ミリより少ない)

滝のように雨が降ります。雨の水でまわりが白く見えます。家の中で寝ている人も気がつきます。

猛烈な雨(80ミリ以上)

息が苦しくなります。大雨で大きい災害が起きるかもしれません。とても気をつけてください。

※気象庁の資料

外水氾濫と内水氾濫

※外水氾濫はこのハザードマップを見てください。
※内水氾濫は、内水ハザードマップを見てください。➡ 富田林市 内水 検索

洪水には、川の水があふれたり堤防が壊れて起こる氾濫(外水氾濫)と、降った雨が水路(水が流れるところ)や下水道に流れなくなる氾濫(内水氾濫)があります。はじめに洪水の起こりかたを知ってください。そして避難所へ安全に行くことができる道を調べてください。

避難行動判定フローを確かめてください

「避難行動判定フロー」と「ハザードマップ」を見て、住んでいる場所や家の危険を考えて、逃げる方法や逃げる場所を確かめてください。

必ずチェック

避難行動判定フロー どのように逃げたらいいか?

ハザードマップ※であなたの家がどこにあるか調べて、印をつけます。
※ハザードマップは浸水(家に水が入る)や土砂災害が起きやすい場所に色がついています。色がないところでも災害が起きるかもしれません。

家がある場所に色がついていますか?
- いいえ → 色がついてなくても、低い場所やがけの近くに住んでいる人は、市からの避難(逃げる)情報を見て、早く逃げてください。
- はい → 災害が起こるかもしれません。**立ち退き避難(家の外に逃げること)をしてください。**

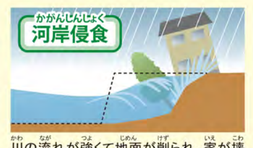
こんな時は
- ■浸水(家に水が入る)が起きても、下のようなときは屋内安全確保(家にいて安全に待つ)できます。
  - ▶洪水で家が壊れるかもしれない場所の外側にいるとき。
  - ▶浸水の深さよりも高いところにいるとき。
  - ▶浸水しても水や食べ物の準備がたくさんあり、水がなくなるまで待てるとき。
- ■土砂災害が起きるかもしれません。でも、とても強いマンションの上の階に住んでいるときは、家にいて安全に待つこともできます。

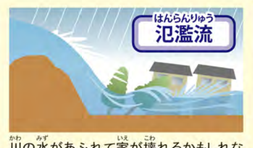
あなたや、あなたと一緒に逃げる人は逃げるときに時間がかかりますか?
- いいえ → 安全な場所に住んでいて一緒に過ごすことができる家族の人や友人はいますか?
  - はい → 警戒レベル4(避難指示)が出たら、親戚や友だちの安全な家へ行ってください。(相談しておいてください)
  - いいえ → 警戒レベル4(避難指示)が出たら、市が決めた避難所へ行ってください。
- はい → 安全な場所に住んでいる親戚や友だち(あなたの家が危ないとき、家に行ってもいい人)はいますか?
  - はい → 警戒レベル3(高齢者等避難)が出たら、親戚や友だちの安全な家へ行ってください。(相談しておいてください)
  - いいえ → 警戒レベル3(高齢者等避難)が出たら、市が決めた避難所へ行ってください。

災害のようすによって開ける避難所が違います。

家屋倒壊等氾濫想定区域

堤防のそばには、洪水のとき、川の強い流れで家が壊れたり流れるかもしれない場所があります。このような場所を「家屋倒壊等氾濫想定区域」といいます。洪水のとき、この場所に住む人は早く浸水区域の外へ逃げてください。



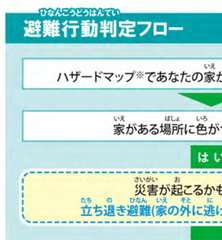


家屋倒壊等氾濫想定区域の場所は裏側(マップ面)を見てください。

土砂災害の種類と前ぶれ(災害の前に起こること)

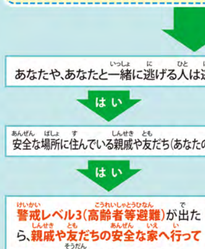
大雨や台風、地震が起きたときには、地面が柔らかくなります。土石流やがけ崩れ、地すべりなどの土砂災害が起こるかもしれません。あなたの家の近くに危ないところがないか調べてください。前ぶれ(災害の前に起こること)があったら急いで逃げてください。また、富田林市に連絡してください。

がけ崩れ



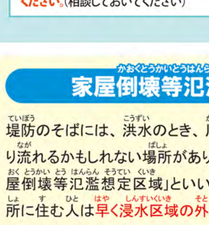
雨などが土を柔らかくして、急ながけや斜面(傾いている地面)が突然崩れることです。地震で起きることもあります。短い時間で崩れたり、大きい石が落ちて来ます。逃げ遅れたときには、死ぬ人が増えます。

土石流



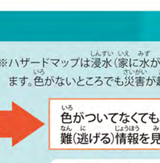
谷や斜面にたまった土砂が、大雨の水と一緒に速く流れるものです。とても流れが速くて危ないです。たくさんの家や建物を壊します。「山津波」ともいいます。

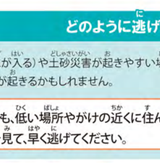
地すべり

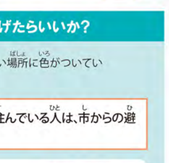


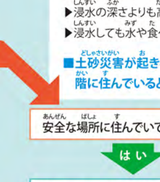
土にしみ込んだ雨の影響で、山の地面がゆっくり動くことです。あまり傾いていないところでも起きます。広い場所が動くので、家や道、畑などに大きな被害がおきます。

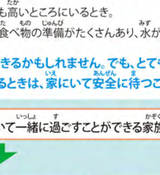
こんな前ぶれに注意してください!

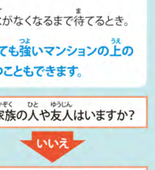

斜面(傾いている地面)が割れる。


わき水(地面から出てくる水)が増える。

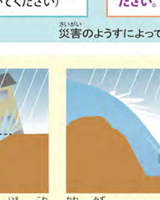

がけにひびが入る。がけから小石が落ちてくる。


雨が降り続いているのに、川の水が少なくなる。


地面から音が聞こえてくる。


川が汚くなり、木が流れてくる。

がけから出る水が汚くなる。


地面にひび割れができる。

斜面(傾いている地面)から水がたくさん出る。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報が出た後で、土砂災害が起こりそうになったら、みなさんに知らせる情報です。大阪府と大阪管区気象台が一緒に作って、みなさんに知らせます。

土砂災害警戒情報は、市長が避難情報を出すときのとても大切な情報です。土砂災害警戒情報が出たら、土砂災害にとても気をつけてください。自分が危ないと思ったら逃げてください。また、土砂災害警戒情報が出ていなくても、土砂の災害が起きるかもしれません。
ほかの防災の情報や土砂災害の前ぶれ(災害の前に起こること)にも気をつけてください。自分が危ないと思ったら逃げてください。